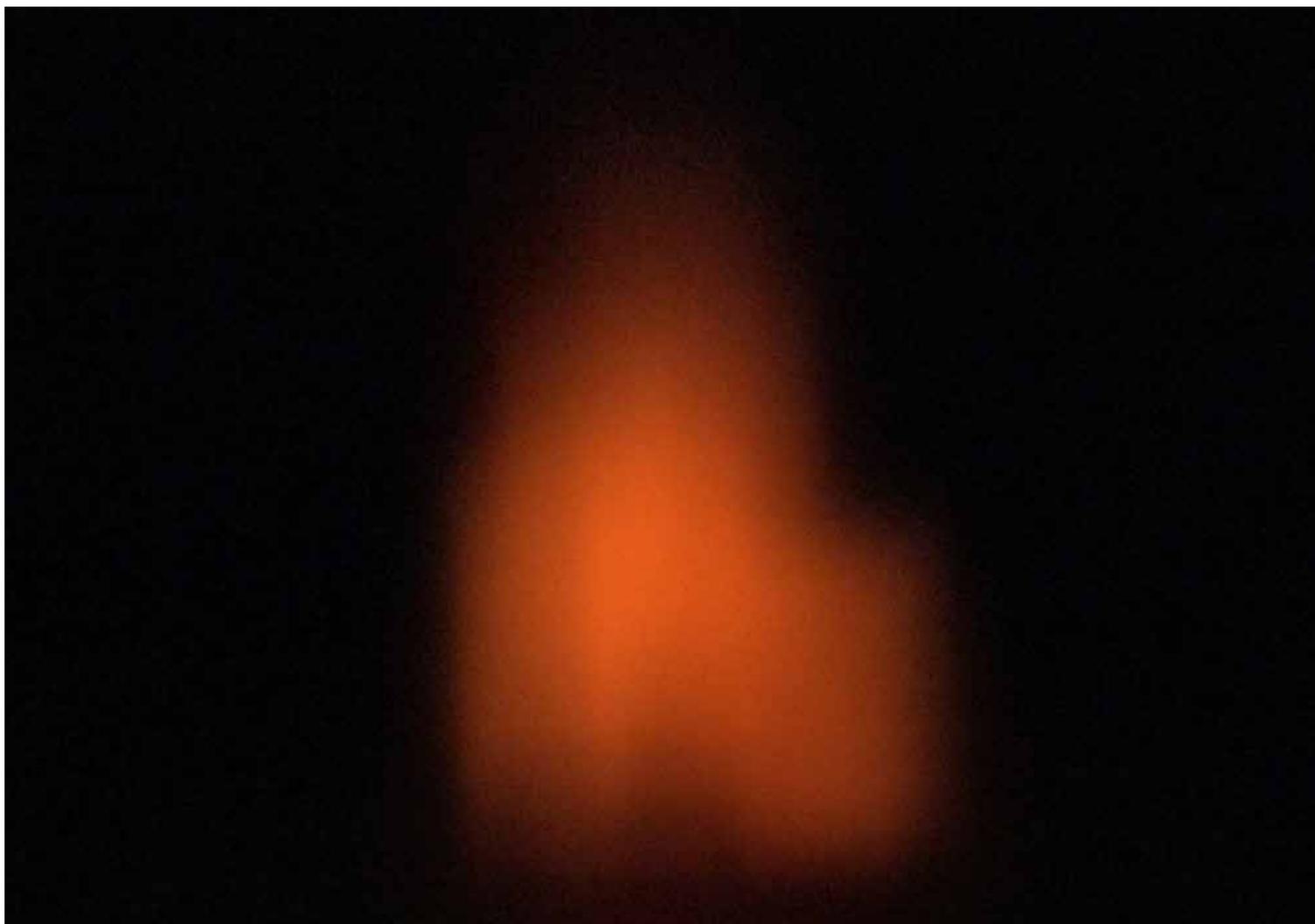




光にこいて

太陽の光、火の光、電灯の光・・・。私たちを取り囲むさまざまな光



前谷康太郎《Reconsider》2015年 / ビデオインスタレーション

2015年12月23日[水・祝] → 2016年3月13日[日]

協力:和歌山県立近代美術館友の会、株式会社 銀平

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>



特集展示 光について

2015年12月23日(水・祝)～2016年3月13日(日)

太陽の光、星の光、火の光、電気の光・・・。

自然の光や人工の光、私たちはさまざまな光に取り囲まれて生活しています。

「見る」ことにとって光は欠かせませんし、絵画や彫刻、版画といった視覚芸術においても、光は重要な存在です。それは照度の確保というだけでなく、印象派が、光の変化を描くことによって新しい芸術表現を展開したように、光(とその影)をどのように表現するのかということは、美術における大きなテーマであり続けています。写真や映像といったメディアは、さらにその表現領域を拡大しました。

本展では、光をテーマに現代の美術作品を紹介し、その存在に思いを巡らせます。鏡に反射する太陽の光と移動の軌跡をフィルムに定着させ、風景のなかに光が点在する不思議な写真を制作する佐藤時啓。太陽光線をレンズで集め、木片に焼き付けることで、光を物質化して見せるロジャー・アックリング。天体を撮影した天文台の写真をそのまま引用してみせるトマス・ルフ。印画紙に直接置いた物体に光を当てて感光させることで画像を創作する瑛九。夜景のなかの電灯や窓の灯りを、その光の部分をキャンバスの地の色を塗り残すことによって表現する小柳裕。銅版画の、紙にインクののらない部分の白さを日射に例えてみせる中西夏之。光を収集し、それらを光そのものとしての映像へと還元する前谷康太郎。

さまざまな光のあられを通して、私たちは認識している世界の在り方を問い直すことにもなるでしょう。

出品作家：瑛九、小柳裕、佐藤時啓、中西夏之、前谷康太郎、ロジャー・アックリング、トマス・ルフ

開催概要

会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室 B
会期	2015年12月23日(水・祝)～2016年3月13日(日)
主催	和歌山県立近代美術館
協力	和歌山県立近代美術館友の会、株式会社 銀平
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休館日	月曜日(ただし1月11日は開館し、1月12日が休館)
観覧料	一般 340(270)円、大学生 230(180)円 ()内は20名以上の団体料金 *「コレクション展 2015/16 -冬」と共通 *高校生以下、65歳以上、障がい者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *1月23日(土)、2月27日(土)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

関連事業

- フロア・レクチャー・(学芸員による展示解説)
開催予定。詳細はお問い合わせ下さい。

※文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

主な出品作品



1. (表紙) 前谷康太郎 《Reconsider》2015/ ビデオインスタレーション



2. 瑛九『瑛九フォトデッサン作品集《真昼の夢》』
表紙/1951/ゼラチン・シルバー・プリント



3. 佐藤時啓 《光一呼吸シリーズより #330 Taiji》1998/
アーカイバル・ピグメント・プリント



4. 小柳裕 《Shrine(Source of Light 14-7)》2014/ 油彩、
アクリル、麻布、パネル

【同時開催】

生誕 110 年 村井正誠展 ひとの居る場所

【会期】開催中-2016年2月14日(日)

【会場】2階展示室

コレクション展 2014/15- 冬

本展と同会期

【次回開催】

宇佐美圭司 回顧展

【会期】2016年3月1日(火)-4月17日(日)

【会場】2階展示室

和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村一郎 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>